

21日 水曜

テサロニケ I

2:1 兄弟たち。あなたがた自身が知っているとおりに、私たちがあなたがたのところに行ったことは、無駄になりませんでした。

2:2 それどころか、ご存じのように、私たちは先にピリピで苦しみにあい、辱めを受けていたのですが、私たちの神によって勇気づけられて、激しい苦闘のうちにも神の福音をあなたがたに語りました。

2:3 私たちの勧めは、誤りから出ているものでも、不純な心から出ているものでもなく、だましごとでもありません。

2:4 むしろ私たちは、神に認められて福音を委ねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせるのではなく、私たちの心をお調べになる神に喜んでいただくとして、語っているのです。

2:5 あなたがたが知っているとおりに、私たちは今まで、へつらいのことばを用いたり、貪りの口実を設けたりしたことはありません。神がそのことの証人です。

2:6 また私たちは、あなたがたからも、ほかの人たちからも、人からの栄誉は求めませんでした。

2:7 キリストの使徒として権威を主張することもできましたが、あなたがたの間では幼子になりました。私たちは、自分の子どもたちを養い育てる母親のように、

2:8 あなたがたをいとおしく思い、神の福音だけではなく、自分自身のいのちまで、喜んであなたがたに与えたいと思っています。あなたがたが私たちの愛する者となったからです。

2:9 兄弟たち。あなたがたは私たちの労苦と



辛苦を覚えているでしょう。私たちは、あなたがたのだれにも負担をかけないように、夜も昼も働きながら、神の福音をあなたがたに宣べ伝えました。

2:10 また、信者であるあなたがたに対して、私たちが敬虔に、正しく、また責められるところがないようにふるまったことについては、あなたがたが証人であり、神もまた証人です。

2:11 また、あなたがたが知っているとおりに、私たちは自分の子どもに向かう父親のように、あなたがた一人ひとりに、

2:12 ご自分の御国と栄光にあずかるようにと召してくださる神にふさわしく歩むよう、勧め、励まし、厳かに命じました。

伝道は私たちの最大の使命ですが、それは「神に喜んでいただく」ためです。自分の目的達成や評判の ための思いが潜んでいないか吟味しましょう。また「権威を主張」しないことも大切です。救いは 屈服させられるものではなく、自由な心において 神様の愛を十分に感じて決心するものです。また「栄誉を求め」ないことも重要です。救いに導いたことで人から褒められるとしたら、自分の心は 守られたとしても、共同体の価値観が少しずつ れてしまうでしょう。そして「愛」をもって伝道 するものです。あなたは でしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

